

令和2年度 1学期終業式 式辞

令和2年7月31日

皆さん、今回も、校歌を歌うことができない式典となりました。残念でありませんが、放送での略式の終業式といたします。

2つ話をします。まず1つ目は、全国大会出場の紹介です。

文芸部から散文部門で松井静香さん、短歌部門で貴船美咲子さんの二人が、放送委員会から一人、朗読部門で山本萌未さんが出場します。三人は、昨年度開催の県総合文化祭で、文芸部の二人は最優秀賞を、放送部の山本さんは銀賞を受賞し、本年度高知で行われる全国総合文化祭に出場することになっています。

ただ、新型コロナウイルス感染防止のため、今年については、現地に赴くのではなく、ウェブ開催となりました。このため、壮行会は開きませんが、とても素晴らしいことですので紹介しました。みんなで祝福と応援の気持ちを贈りたいと思います。

2つ目は、夏休みを迎えるに当たってのお話です。

幕末の思想家であり教育者である吉田松陰の言葉を紹介します。

「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、
実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」

夢や理想をもう一度思い起こし、それに至るまでの計画を立て、やり抜こうとする意志を持って着実に実行していく、そんな皆さんの総合力、底力に期待します。

それと、いつも言っていることですが、くれぐれも自分の命と体と心を大切にしてください。

コロナ感染拡大地域への不要不急の移動を自粛するなど、感染対策や事故等に気をつけるとともに、気持ちの上で本当に辛く苦しいときは、私たち教員や友だち、家族など、ぜひ回りの人を頼ってください。助けて欲しいと手を出せば、必ず誰かがその手を握り返してくれます。

例年よりは短い夏休みです。だからこそ余計に真価が問われます。皆さん一人ひとりが充実感を持って、元気に明るく、2学期の始業式を迎えられることを期待しています。

以上で終わります。